

■診療材料検討委員会

日常診療で用いられる輸液セット、各種チューブ・カニューレ等の診療材料に関して、安全性・使いやすさ・経済性などを考慮した上で検討する目的で、2004年9月に本委員会は設置されました。

2004年度には種類別に診療材料の再検討を行い、最終的には採用品を356品目（約3分の1）まで絞り、診療材料の在庫を減らすことができました。

2005年度からは、中央材料室にある在庫を北医企画さんに所有・管理していただき、各部署が必要な診療材料を中央材料室に請求する方式を採用しました。これによって病院所有の在庫がさらに減少し、より効率的な診療材料の管理が可能となりました。

2006年度には、診療報酬改定に伴って、カテーテル等の品目について再検討を行いました。

今後は、各品目について随時検討をすすめると同時に、各部署での在庫管理（在庫数の適正化、期限切れ在庫の有無など）も徹底していく予定です。

文責 後藤 真彦